

令和4年度 第1回 横浜市美術資料収集審査委員会 会議録

- 1 日 時 令和4年11月25日（金）午後1時30分～午後3時30分
- 2 場 所 山九平和島ロジスティクスセンター
- 3 出席者 建島哲 委員長、岡部あおみ 委員、勝山滋 委員、加藤弘子 委員、関次和子 委員、長門佐季 委員
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 なし
- 6 議事内容

議題	令和4年度収集候補作品の審査
決定事項 議事	<p>1 定足数の確認 委員数6名のうち6名の出席により定数を充足しており、会議の成立を確認した。</p> <p>2 本委員会の公開・非公開について 〈審議結果〉 横浜市の保有する情報の公開に関する条例第31条に基づき、作品説明と質疑については公開とし、審査報告書作成については非公開とした。</p> <p>3 収集候補作品の審査 収集候補作品496点（購入1点、寄贈336点、寄託159点）について、横浜美術館指定管理者が概要を説明した後、検分審査を行った。 審議の結果、全会一致で上記496点について、収集が妥当との結論が出た。 また、購入候補作品の評価額の決定については、横浜市美術資料収集審査委員会運営要綱第7条6項に基づき、横浜市美術資料評価委員会の決議をもって横浜市美術資料収集審査委員会の決議とすることを決定した。 議事については以下のとおり。</p> <p>4 議題：令和4年度収集候補作品の審査 ※作品の収集形態及び作品番号については、【収集形態—番号】の形で示す。</p> <p>【購入1】浅井 裕介『新作（タイトル未定）』 （岡部委員） ・各パーツを並び替えられるということだが、長方形のフォーマットに収まらない場合もあるのか。 （横浜美術館） ・作家は7パターンの並べ方を考えており、いずれも長方形のフォーマットに収まるが、今後の制作の過程で変更となることも想定される。</p> <p>【寄託004～195】大岡信旧蔵美術コレクション一式 （横浜美術館） ・作品数が調書では192件235点と記載があるが、正しくは189件232点。 （建島委員） ・どなたからのオファーか。</p>

(横浜美術館)

- ・ 明治大学。ご遺族などからの直接のオファーではない。

(建島委員)

- ・ 大岡信氏のご遺族は横浜美術館に寄贈されることはご存じか。共有したほうが良い。

(横浜美術館)

- ・ 明治大学からオファーをいただく際に、ご遺族やご遺族と直接つながりのある大岡信研究会の方々とお話しいただいていると伺っている。

【寄託121～124】 スプツニ子！『カラスボット☆ジェニー』ほか

(岡部委員)

- ・ 映像と写真と関連資料は、それぞれ単独で展示しても良いのか。

(横浜美術館)

- ・ 基本的には映像と写真は同時に展示することを想定しており、関連資料については別の扱いとなる。

【その他】

(加藤委員)

- ・ 寄贈作品が多いが今後どのように活用をしていくのか。

(横浜美術館)

- ・ 寄贈作品については、その活用性を重んじて収集の検討を行った。実際にオファーされた作品はより多くあったが、収集方針や活用性を検討して絞り込みを行った。

議事は以上